

交流留学月例報告書[8月分]

留学先：アメリカ | フィンドレー大学

松岡美羽

<日本出発→フィンドレー大学到着>

私たちの留学先であるフィンドレー大学から、8/6（日）にデトロイト空港に私たちを迎えに来るという指示がありましたが、日曜日の航空チケットよりも前日の土曜日のチケットの方が安かったため、私たちは土曜日に日本を発ちました。デトロイト空港周辺のホテルに一泊し、翌日デトロイト空港に来たフィンドレー大学の迎えのシャトルバスに乗り、1時間ほどかけて大学に向かいました。

私のハウスの部屋は、各1人テーブル、クローゼット、棚、ベッドが一つずつありました。どこのハウスも、枕やシーツ、布団などの寝具は用意されていないので、自分たちで用意しなければなりません。私はルームメイトがいますが、私が着いた時にはまだハウスメイト2人しか家におらず、すでにいたハウスメイトの子に頼んで車で近くのWalmartに連れて行ってもらい、そこで寝具や洗濯洗剤などの必需品を買いました。



<Welcome Week>

最初の2週間ほどはWelcome Weekで、大学内でイベントが毎日のように行われ、私たちはさまざまなイベントに参加しました。前半の方は大学の入学式などが行われる前だったためまだネイティブの学生たちはおらず、私たちのような日本人やインド人、ベトナム人などの留学生との交流がほとんどでした。



Movie Night



Arch Ceremony



9 Square game

<学校生活>

授業は月、水、金が9:00スタートで、火、木が9:30スタートです。1日に2、3個授業があり、私たち留学生に必須の英語の授業であるIELPプログラムの授業は毎日14:00

には全て終わります。そのあとは特に予定がない場合は自習ができるようなスペースがある建物で宿題をしたり話をしたり休憩したりしています。そのような場所にいれば自然と外国人の友達と交流できる機会が持てて、一緒に課題をやったりゲームをして遊んだりします。

また、IELP の授業のほかにコーラスの授業をとっているので、月、水の 15:30 から 1 時間半ほどはコーラスの授業にも参加しています。

<食事>

ミールプランという、学校の食堂を使うことができるプランに入っています。私のプランは週に 7 回使うことができるプランなのでたいていはお昼に一回食堂に行きます。食堂はビュッフェ形式でたくさんの種類の料理があり、自由に選んで食べることができます。

<シェアハウス生活>

私の住んでいるシェアハウスは二階建てでそれぞれの階にバスルームが一つずつあります。洗濯機と乾燥機は一階に一つずつあり、空いている時に使っています。この気候は今の時期でも寒い日があるくらいなので洗濯の頻度は多くても 2 日に一回程度で足りています。ハウスメイトもルームメイトもとても優しくてストレスなく過ごせていて、家でもたくさん英語で話をする機会があるので嬉しいです。



<週末>

今月は週末も忙しいくらいに予定がたくさんありました。ありがたいことに私たち留学生にとっても良くしてくれる現地の学生がたくさんいて、Hoot ball の試合やモール、レストランなど、車でいろいろなところに連れて行ってきて、まだ 1 ヶ月しか経っていませんが 1 ヶ月とは思えないくらいたくさんの経験をしました。

